

— 大学農場フィールドを活用した産学連携研究事業の展開 —

＜農業分野への先端技術展開＞農業分野においても、ゲノム編集技術や ICT、植物工場などの先端技術導入が進められています。こういった先端技術の現場実証試験には、試験圃場等における管理運営のマネジメントが必要となります。そもそも大学農場は作物生産など圃場管理運営のノウハウを持っており、大学内において開発されたさまざまな農業系技術シーズを実用規模で試験するフィールドとして活用することが可能です。

＜特別共同研究事業＞筑波大学では、民間企業との特別共同研究事業や独立行政法人との研究ユニットを設置して、産官学共同研究を行える様々な分野のイノベーション拠点を構築する事業を展開しています。これらの事業の中核にある特別共同研究事業とは、企業等からの資金を原資に研究者を雇用して学内の関連研究者と共に研究グループを構築し、双方が対等の立場で共通の課題について共同研究を実施するものであり、大学の研究成果をシーズとして、その技術の社会実装を企業側と連携して行うことを目的としています。

＜(株)トーヨーエネルギーファームとの特別共同研究事業＞筑波大学農林技術センターでは、先端育種技術によって開発された品種の評価とその実用化試験ならびに生産システム開発を行うプロジェクトを、(株)トーヨーエネルギーファームと提携して特別共同研究事業として進めています。ここではトマトなどを対象として、当大学生命環境系蔬菜花卉研究グループにおいて開発された長期日持ち性や各種機能性をもつ品種ならびに、連携している種苗会社から提供される品種に関する圃場における生産適用性試験を実施し、(株)トーヨーエネルギーファームの農業事業に展開することを目指しています。

筑波大学・(株)トーヨーエネルギーファーム特別共同研究事業



筑波大学農林技術センターを研究フィールドとして学内外
関連研究グループが集結した共同開発体制の構築

筑波大学農林技術センター

〒305 8577 茨城県つくば市天王台 1 1-1 TEL: 029-853-2547 FAX: 029-853-6205

E-mail: center-jimu@nourin.tsukuba.ac.jp URL: http://www.nourin.tsukuba.ac.jp/